



あなたにとってFINDとは何ですか？

福岡いのちの電話 常務理事

五斗 美代子



福岡いのちの電話は、2024年に開局40周年を迎えました。「福岡いのちの電話」、「日本のちの電話連盟(Federation)」どちらも頭文字はFINDで、はじめて全国の事務局会議に出席した時、「FIND」、「FIND」と言われると、このことに気が付かず、福岡はこんなに注目されているのかと勘違いしたことを思い出します。福岡は、連盟50センターの19番目に開設しました。

福岡の生みの親である玉井正雄さん(初代文化ライオンズクラブ会長)は病気で失明され、障害者など多くの方から電話相談を受け、悩める人のためのFIND開設の必要を痛感されました。そこで、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、牧師、住職、医師、弁護士、大学教授、企業、報道の方々など幅広く声をかけられ、福岡市青少年相談センターにいた私にも電話がありました。

設立準備委員会では、FINDの基本理念、組織、資金集め、場所の確保、相談員の募集、研修等について、安藤延男先生(当時九大教授)を中心に案を出され、全員で討議を重ねました。安藤先生は、慈父のような優しさと厳しさをお持ちでした。

研修を終えた72名のボランティア相談員ではじまった相談は、紆余曲折がありながら現在160名の方が熱心に電話を取っています。

今年2月相談員集会で司会者が、会の終わりに「あなたにとってFINDとは何ですか」と全員に問いました。出席者の声は、「生き甲斐」「学びの場」「仲間がいる」など色々でした。また、「人と出会う場」「かけ手と他の相談員さんとまた、自分で気づけなかった自分と出

会える場」という感想もありました。私にとってもこの40年は、玉井さん、歴代の理事長(初代阿部輝明先生は玉井さんと戦友だったとのこと)をはじめ、理事、監事、教育研修、スーパーバイザーの先生方、後援会の方々、何より電話をとる相談員、後ろで支える事業ボランティアとの素晴らしい出会いの場でした。

FINDは、孤独や人生の危機にある人が電話を通して相談員と出会い、話を聞いてもらうことができる場です。Findは発見する・見つける・手に入れると訳され、かけ手が新しい自分を見つけることができる場でもあります。

今、世界は争いがあり、広がる経済格差など、社会全体に不安があります。特にこの20年、AIの発展は著しく、将来AIが人にかかわって相談に対応するのではないかと言われたりします。時代の変化で以前当たり前だったことが当たり前でなくなり、新しい状況に対応するのも大変です。しかし、変えていいものと、変えてはいけないものを判別することも大切です。

人が生きるとき、悩み、苦しみに出会うのは、2000年の昔も今も変わりありません。すべての人が勇気と希望をもって生きていくために、設立時の基本を守りながら、誰でも気軽にかけることのできる電話でありたいと思います。

次なる50周年に向けて今まで支えてくださった多くの方々へ感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



いのちの電話プロジェクト 「いのちの電話の相談員が足りません」

いのちの電話の活動を担う相談員の主な活動内容やいのちの電話の目的、そして何より「いのちの電話の相談員が足りない」ことを知ってもらうために、レソラホールにて相談員募集イベントを3月2日に開催しました。

第1部では、タレントで元HKTメンバーの兒玉遥さんから「話すこと、聴くことの大切さ」についてお話いただきました。講師の兒玉さんは、20歳の頃うつで休業したこと、兒玉さんを支えてくださったお母さまのこと、心に残っている精神科の主治医からの言葉など、ご自身の経験が話された。途中、感極まって中座したものの、話すことの大切さなどのご自身の思いを素直に表現され、会場に感動を与えた。

第2部、福岡、北九州及び佐賀いのちの電話の相談員研修担当者による「いのちの電話の相談員はどんなことをするの？大変じゃない？」と題したパネルディスカッションでは、長谷川

彰氏（福岡いのちの電話理事）が司会役となり、今回のプロジェクトの目的などを説明し、いのちの電話の目的等について松尾公孝氏（福岡いのちの電話教育委員長）、いのちの電話の特徴である「傾聴」について清水ます子氏（北九州いのちの電話研修委員長）、相談内容の傾向及び相談員募集中の状況について山口政治氏（佐賀いのちの電話相談員サポーターの会代表）が順に発言し、相談員を続けて良かったことなどの相談員の声について紹介しました。



アンケート結果(一部)を紹介します。

○ 第1部について

- 一つ一つ誠実に話してくれて、とても心に響きました。しっかり前を向いて歩いている姿に、私自身が学ぶことが多かった。短い時間でしたがいろいろと大切なことが集約されていました。
- 自分の言葉で一生懸命に語っていただけたと思います。
- 初めて一人で1時間も話す講演に、「いのちの電話」のイベントを選んでいただいたこと、チャレンジされたことに敬意を表します。辛かった時のことを人前で話すことは本当に大変なことだと思います。

○ 第2部について

- 「いっぱいいっぱい」の心理状態で電話がかかってくるというお話が、心に残りました。いのちの電話のあり方、原則について知ることができて、とてもためになりました。
- 相談員は専門職であり、研修期間も長く、費用もかかる。ハードルも高く感じられ、人員不足となる事も仕方ないのではないかと感じる。
- 人間には話すことで楽になる心理があると思うので、社会にとって有益だと思いました。
- 私には無理のようです。
- 前向きに考えてまいります。社会貢献だけでなく、自分自身のためにも。



リフレッシュ研修を受講して

瀬里徳子スーパーバイザーを講師に迎え、44期～46期を対象にしたリフレッシュ研修が3月22日（土）にキリスト教会館で行われた。10時から16時までという長丁場の研修である。

まず、原点を確認するためか、いのちの電話のボランティアになった動機を自己紹介とともに話すことから始まった。「時間に余裕ができたためそれを有意義に活用するため・・・」「仕事が相談業務も含んでいたため自分は相談にあうかと思って・・・」「人に話を聞いてもらって救われたので、今度は自分が役立ちたいと思って・・・」等々皆さん様々な動機でボランティアとなっている。研修を経て実務に携わり2年から4年が経っており、それぞれ思うところがあるの参加なのだろう。

研修テーマは、ずばり『電話相談における「聴く」こと』。まさにいのちの電話の肝である。

「話す」は「離す」「放す」こと。

「よく聴く」は「よく効く」こと。

「聞く」と「聴く」と「訊く」との違い。

「同感・同情」と「共感」との違い。

等々重要な点が確認されていく。

午後は、ロールプレイを中心に研修は進んだ。「聴く」を妨げる6つの態度を学習し、ロールプレイで実際に妨げる聴き方をされた時のコーラーの気持ちを体感。また、例題を基に、相談者と聴き手を交代しながらロールプレイが行われた。

最後の振り返りでは、「今この時をコーラーと共有する」ことの大切さが参加者で共有された。

リフレッシュとは、「原点の再確認」ということを改めて感じた研修であった。
(N.I)



ご寄附は下記の振込先までお願いします

銀行口座：口座名義＝社会福祉法人 福岡いのちの電話
 福岡銀行赤坂門支店 (普) 1147617
 西日本シティ銀行天神支店 (普) 2131458
 郵便口座：福岡いのちの電話 01720-9-1037

千人会 1口1万円/年 (何口でも)
 賛助会 1口2千円/年 (//)
 法人会 1口3万円/年 (//)

ご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

税制の優遇措置があります

社会福祉法人の認可を受けておりますので、寄附をされた場合、法人の場合は損金扱いに、個人の場合は年間所得の25%まで寄附控除が受けられるといった、税制上の優遇措置の対象となります。また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。

第4回全体研修

第4回全体研修は、1月25日（土）キリスト教会館において、「性の電話への対応」と題して、松浦賢長氏（福岡県立大学理事・教授、日本思春期学会理事長・性教育委員長）を講師に迎え実施されました。また、併せて日本いのちの電話連盟からの依頼で実施した「電話相談員が不快に感じた事象についてのアンケート」結果についても共有しました。

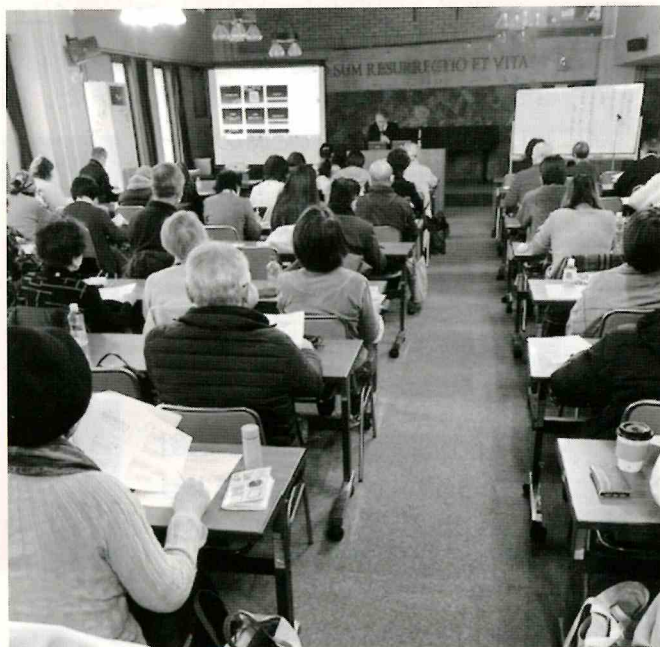
松浦先生からの一方的な講義だけでなく、前後に座っている相談員との話し合いの場が何度か設けられました。スマホとQRコードを利用して、松浦先生が発表することで、全員にその情報が共有されました。



特に興味を持って参加したわけではありませんでしたが、先生の独特なゆっくりとした話し方にいつのまにか引き込まれていました。研究者らしい文献の説明により、実際に電話をとった事例がこれに該当するなど、ただ単に嫌な性の電話で終わることなく、「その背景に何が起きているのか」と推察する機会になりました。現場の話なども興味深く聞きました。

わいせつ電話を4つに類型し明確化する中で、「いのちの電話」に架かるものが、緊急電話にかけ女性にわいせつな話をするクライスライン、これに該当することがわかりました。また講義内の質問、感想をQRコードを読み取り記入すると先生のパソコンに瞬時に入力され、先生が読まれ回答する等、初めてのことでした。

講義の都度都度に、座席の前後で面識のない相談者との話し合いが含まれ、知らない時間帯の情報を得ることもできました。これが面白かった。納得するやら、笑うやら。知らない人でも「いのちの電話」に関わっているというだけで、ストレートに意見交換ができる。この会の醍醐味であると感じました。 (Y. H)



福岡いのちの電話

第51期 ボランティア募集

福岡いのちの電話のウェブサイトで最新の状況が確認できます。
アドレス：www.f-inochi.org/bosyu

今年度の電話相談ボランティア、事業ボランティアの募集は5月1日からです。

関心のある方は事務局までご連絡ください。募集要項が印刷でき次第お送りします。



リレー 随想 第36回

福岡いのちの電話 理事

長谷川 彰

(西日本新聞報道センター編集委員)



「お米が高い」と言われていますが…

「令和の米騒動」が続いています。昨年の夏ごろから、スーパーなどの店頭でお米の姿が消えました。新米が出回るようになり、品不足感は落ち着いたかに見えたのもつかの間、値段がどんどん上がってきました。政府が備蓄米を放出して沈静化を図ろうとしていますが、先日、近所のスーパーの店頭を眺めてみますと、大分県産ひのひかりが税込み4500円ほど。コシヒカリやあきたこまちは5千円程度で、高止まりしている感じです。

米不足騒ぎの理由は、さまざま語られています。夜でも30度を超えるような高温が続いた一昨年が不作だったこと、日向灘で起きた地震に伴って南海トラフ地震臨時情報が発表されたり、台風の接近が続いたりして、消費者が万が一に備えて買い置きに走ったこと、などと言われています。転売目的でこっそりため込んでいる業者もいる、との声もありますが、果たしてどうでしょうか。

一方で見逃せないのが、ずっと減り続けていた米の需要が近年、増加に転じているという指摘です。懇意にしている農業ジャーナリストの山田優さんによると、主食用米の消費量は毎年8万~10万トンのペースで減り続けていたのが、一昨年は前年より約10万トン増えたとのこと。海外からの旅行客が増えて米が多く食べられるようになったこともあるようですが、「主な原因は別」と言います。

3年前にロシアがウクライナに侵攻したのをきっかけに、世界の経済事情が急転しました。小麦などの食料をはじめ、肥料や石油などエネルギー資源を輸入に頼る日本は、そのあおりで値上げの連続です。その状況は今も続いていて、山田さんは「結果として、

日本が自給できる米の割安感が増し、需要増につながった」と分析しています。

「なるほど」とうなずいた私は、戦後間もない頃の国会で大蔵大臣が発した、有名な答弁を思い出しました。当時も物価高が問題となっていて、対策をただされた池田勇人蔵相は「所得の少ない方は麦を、多い方は米を食うという経済原則に」と答えたのです。俗に言う「貧乏人は麦を食え」発言です。私は山田さんと「いつの間にか、お米は安いから食べる商品になってしまっていて、それが急に値上がりしたから騒ぎになったのでしょうか」と語り合ったことでした。

でも、茶わん1杯のご飯(約150グラム)の値段は、どのくらいでしょう。5キロ5千円の商品なら、炊飯前の精米に換算すると75グラム=75円となります。炊飯に費やす水道・電気代を含めても茶わん1杯80円ほど。他の食品と比べて「高過ぎる」とは言えないのではないのでしょうか。稲作農家の多くはもともと経営が厳しく、農業機械の更新時の高額出費に耐えきれず離農が進んでいる、と指摘されてもいます。農家の立場なら「それでも安い」が実感かもしれません。

もちろん、もっと高くてもよい—などと言うつもりはありません。米や麦などの穀物は私たちの命を支える基礎食料。安価で安定的に購入できる状況が望ましいのは言うまでもありません。農家と非農家どちらの暮らしも成り立つ価格で折り合えるよう、私たちの懐を温める政策こそが必要ではと考えていますが、みなさんは、どう思われますか？

福岡鶴城ライオンズクラブ例会で寄附金の贈呈

3月6日（木）、福岡鶴城ライオンズクラブ例会において、寄附金が贈呈されました。また、金子事務局長が「福岡いのちの電話の40年」と題して、いのちの電話の使命、40年間の相談実績、相談の傾向、相談員の推移等について説明しました。開局してからの40年間継続して支えてくださった同ライオンズクラブのご支援に対して、谷村和夫会長に感謝状をお渡ししました。

生命保険協会から寄附金贈呈

12月9日（月）、福岡いのちの電話事務局にて、生命保険協会様からご寄附を頂戴しました。2020年から続いているご厚志に感謝申し上げます。

写真は、一瀬隆仁様（生命保険協会、明治安田生命支社長）と事務局長です。



朝日新聞厚生文化事業団から寄附金贈呈

2月5日（水）、福岡市博多区の朝日新聞社にて、朝日新聞厚生文化事業団様からご寄附を頂戴しました。北九州いのちの電話も同時に寄附されています。



支援自販機のご紹介

支援自販機は、飲料水の自動販売機設置契約の方に支払われる販売手数料が寄附としていのちの電話に入るシステムです。

設置していただいている事業所の方はもちろん、購入していただく方からも支援していただいていることになります。

福岡いのちの電話には11箇所の支援自販機があり、年間90万円の収入となりました。自販機設置による支援をお考えの方は、事務局までお問い合わせください。





ご援助ありがとうございます

寄附感謝報告 2024年12月1日～2025年2月28日（敬称略・受付順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

*このご寄附には所得税、県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。
また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



千人会

| | |
|--------------------|--------|
| 浄土真宗本願寺派 託乗寺(北條憲昭) | 10,000 |
| (学) 桧原こひつじ幼稚園 | 20,000 |
| 福岡聖パウロ教会 | 10,000 |
| 濱 孝明 | 10,000 |
| 山田まさこ | 10,000 |
| 福島あい子 | 20,000 |
| 諸岡達也(諸岡小児科) | 10,000 |
| 佐藤英彦 | 10,000 |
| 川谷大治 | 10,000 |
| 大島義太郎((有)大島設計) | 10,000 |
| (学) 聖公学園 草ヶ江幼稚園 | 10,000 |
| 入江信行 | 10,000 |
| 本山智敬 | 10,000 |
| 倉成太郎 | 10,000 |
| 宮崎宏之 | 10,000 |
| 合屋四郎 | 10,000 |
| 濱生正直 | 10,000 |
| 濱生牧恵 | 10,000 |

一般寄附

| | |
|-----------------------|--------|
| 田中幸彦 | 2,000 |
| 日本福音ルーテル久留米教会 マリヤ会 | 3,000 |
| 福岡聖パウロ教会 麦の会 | 5,000 |
| 樋口和義 | 3,000 |
| 匿名 | 5,000 |
| 中野智之 | 10,000 |
| 石村重哉 | 3,000 |
| 喜多村弘宗 | 40,000 |
| 日本キリスト教会 福岡城南教会 | 5,000 |

| | |
|--------------------|---------|
| 福岡カルメル会修道院 | 3,000 |
| (一社) 生命保険協会 福岡協会 | 50,000 |
| 匿名 | 10,000 |
| 植田治夫 | 3,000 |
| 有吉光寛 | 5,000 |
| 久保千春 | 20,000 |
| 福岡市民クリスマス実行委員会 | 15,000 |
| 鴨川順子 | 10,000 |
| (学) 信愛学園 周船寺第二幼稚園 | 5,000 |
| 国際ソロプチミスト太宰府 | 100,000 |
| 大塚啓子 | 10,000 |
| 在日大韓基督教会 福岡中央教会 | 10,000 |
| 中尾敦子 | 50,000 |
| カトリック鳥栖教会 | 30,000 |
| 西南学院バプテスト教会 | 20,000 |
| 平川和徳 | 10,000 |
| 福岡女学院中学校・高等学校 | 10,000 |
| 田中幸彦 | 2,000 |
| 井原洋子 | 10,000 |
| 中田きく子 | 3,000 |
| 日本基督教団 前原教会 | 5,000 |
| カトリック南粕屋教会 | 5,000 |
| 社会医療法人 栄光会 | 10,000 |
| (学) 福岡女学院キリスト教センター | 27,767 |
| 長住バプテスト教会 | 12,000 |
| 志鶴昭久 | 3,000 |
| 日本基督教団 福岡城東橋教会 | 10,000 |
| 27期同期 | 1,000 |
| 井上康市 | 10,000 |
| 匿名 | 1,000 |

| | |
|-----------------|---------|
| 長 純子 | 5,000 |
| 渡辺和司(福富由加里) | 87,500 |
| 小川栄子 | 3,000 |
| 日本基督教団 福岡中部教会 | 10,000 |
| 田中幸彦 | 2,000 |
| オザキ ケイゾウ | 10,000 |
| (株) 九電工(40周年協賛) | 100,000 |
| 小郡カトリック教会 | 15,000 |
| 平尾バプテスト教会 | 20,000 |

法人会

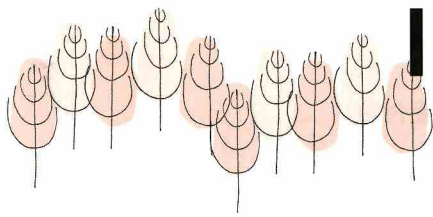
| | |
|--------------|--------|
| (医) 盛和会 神代医院 | 60,000 |
|--------------|--------|

助成金

| | |
|------------------|---------|
| (社福) 朝日新聞厚生文化事業団 | 150,000 |
| (社福) 西日本新聞民生事業団 | 150,000 |

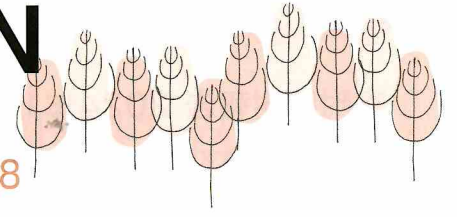
支援自販機

| | |
|------------------------------|--------|
| (財) 恵愛団(九州大学病院内) | 77,603 |
| 西部ガスホールディングス(株) (パピヨン24内) | 18,517 |
| 西部ガスホールディングス(株) (油山研修所内) | 715 |
| 西部ガス都市開発(株) (サンテ飯倉内) | 1,013 |
| 西部ガス都市開発(株) (ニシコー千代ビル内) | 10,492 |
| (有) ダイキ通信工業(自社内) | 18,063 |
| (株) 西日本新聞社(本社) | 37,388 |
| (株) 西日本新聞プロダクツ (製作センター) | 12,926 |
| 福岡県弁護士会 (福岡県弁護士会館内) | 6,326 |
| JFEパイプライン(株)(自社内) | 3,165 |
| 九州電力(株)福岡支店 (電気ビル新館8階) | 691 |



INFORMATION

インフォメーション



日誌 2024.12.1~2025.2.28

12月

- 9 生命保険協会寄附金贈呈式
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 相談活動運営委員会
事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
第50期ボランティア養成講座
(講師：久保千春氏)
- 12 福岡北ライオンズクラブ寄附金贈呈式、卓話
- 13 自主研修「もみじの会」
- 14 自主研修「ケースと私」
- 16 第9回理事会
受信資料検討班会
- 18 第9回教育委員会
- 19 連盟主催研修担当者研修(WEB)
- 21 連盟主催ネット相談講習会(九州地区)
- 25 第50期ボランティア養成講座
(講師：楯林英晴氏)
事務局会議

1月

- 8 第50期ボランティア養成講座
(講師：松浦賢長氏)
- 9 相談活動運営委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 14 事業ボランティア「手づくり会」
- 15 受信資料検討班
- 16 第10回理事会
- 20 事業ボランティア「企画づくり会」
- 23 第50期ボランティア養成講座
(講師：吉野正氏)
第2回スーパーバイザー会
- 24 自主研修「もみじの会」
- 25 第4回全体研修
(講師：松浦賢長氏)
研修運営班会
- 28 事業ボランティア「手づくり会」
- 29 第10回教育委員会
事務局会議

2月

- 1 チャリティーコンサート

- 5 朝日新聞厚生文化事業団寄附金贈呈式
第50期養成講座
(講師：笠原嘉治氏)
- 8 相談員集会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 11 事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 12 受信資料検討班会
- 15 電話ボランティア養成サポーター会自主研修
(講師：金子周平氏)
- 17 第11回教育委員会
- 19 第50期生養成講座
(講師：岡秀樹氏)
- 20 広報活動班
- 22 ソーシャルワーク研修(松尾教育委員長、養成サポーター)研修運営班
自主研修「ケースと私」
- 25 第11回理事会
事業ボランティア「手づくり会」
- 28 自主研修「もみじの会」

【編集後記】

今年は3月になっても寒い日が続いておりましたが、25日には3月の観測史上最高気温 27.4°の夏日を記録し、桜が急に満開となりました。季節の移ろいの速さに驚くとともに、最近言われるようになった“地球沸騰化”が懸念される出来事が続いているようです。

巻頭言「あなたにとってFINDとは何ですか？」は、久方ぶりに五斗常務理事に執筆いただきました。福岡いのちの電話とともに歩いた40年間に、いろんな方との素晴らしい出会いの場があったと感じます。皆様方にとってはいかがでしょうか。

福岡に限らず、全国的に「いのちの電話の相談員」の減少に歯止めがかからない状況が続いており、3月2日に「いのちの電話の相談員が足りません」とのプロジェクトを開催しました(2P参照)。市政記者クラブに報道依頼をした結果、地元新聞社は事前の告知記事を、また、民放2社が「鳴りやまない電話に寄り添う“いのちの電話”」、「匿名で不安や悩みを相談できる“いのちの電話”相談員が足りない」と報道していただきました。これらの報道が5月から開始する51期のボランティア募集につながればと期待しております。

春は別れの季節でもあります。長年電話相談ボランティアを続けていただいた方もご自身の病気やご家族の介護など色々な理由で、いのちの電話を卒業される方もおられます。別れは本当に残念ですが、やむを得ないものでもあります。いのちの電話にかかわっていただいた方の卒業後のご多幸をお祈りいたします。(H.K)

電話受付件数

2024年12月～2025年2月

| | |
|--------|---------|
| 受付件数 | 2,986件 |
| 延べ相談員数 | 877人 |
| 延べ受信時間 | 89,544分 |

発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
社会福祉法人 福岡いのちの電話
TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343
ホームページアドレス
<http://www.f-inochi.org/>
発行人 久保 千春
編集 広報活動班



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。